

社会システム研究科 地域社会システム専攻 修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

社会システム研究科地域社会システム専攻は、以下の能力を有すると認めた者に博士(学術)の学位を授与します。

■ 高度な専門的知識・技能

- 地域の都市社会(アーバン・コミュニティ)の法的・政治的・社会的・経済的・文化的諸課題に関する専門的知識とそれを運用するより高度な技能を身につけている。
- 地域社会研究・社会システム研究に普遍的な位置づけを与える思想文化的背景に関する専門的知識とそれを運用するより高度な技能を身につけている。
- 北九州と地理的・歴史的に深いつながりをもつ東アジア社会圏に関する専門的知識とそれを運用するより高度な技能を身につけている。

■ 高い問題解決能力と表現力

- 地域社会の次代を切り拓くより高い思考・判断・表現力を身につけている。
- 東アジア社会圏の次代を切り拓くより高い思考・判断・表現力を身につけている。
- 研究分野の次代を切り拓くより高い思考・判断・表現力を身につけている。

■ 高い倫理観に基づいた自律的行動力

- 高い倫理観に基づき地域社会における課題を見定め、その構造を分析・探求し、実践的な政策提言に繋げる態度と自律的行動力を身につけている。
- 高い倫理観に基づき地域社会研究・社会システム研究にもっとも関わりのある思想と文化の分野において、新しい構想・創造に寄与し、方向付けを与える態度と自律的行動力を身につけている。
- 高い倫理観に基づき東アジア社会圏のさまざまな地域社会の社会システム(政治・経済・文化)を個別的・実証的に研究する態度と自律的行動力を身につけている。

社会システム研究科 地域社会システム専攻

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

社会システム研究科地域社会システム専攻では、修了判定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を実現するために、以下のとおり教育課程を編成し、実施します。

教育課程の編成

（編成の方針）

- 1 社会システム研究科地域社会システム専攻は、地域・地域社会研究を通じて高度な研究能力と専門知識を身につけ、地域が抱える諸課題を分析し、具体的な解決策を提言できる能力を備えた高度専門職業人及び研究者の養成のため、順次性・体系性のある教育課程を編成する。
- 2 教育課程は論理的に考察する力、およびコミュニケーション力を養成しつつ、自身の考えや判断を効果的に表現できる力を養成するため、高度な専門知識を養成する研究科目及び特別研究科目で編成する。

（教育課程の構成）

※（ ）は修了に必要な最低単位数で、修了要件単位数 12 単位の内訳
地域社会システム専攻の教育課程は、編成の方針に基づき、「研究科目」（自由科目）と「特別研究」（12）で構成する。

- 1) 「研究科目」（自由科目）は、高度専門職業人及び研究者に必要な高度な専門知識の修得、及びそれらを合理的に活用するための高度な論理的思考能力を養成するための科目群である。全ての科目を自由科目とする。
- 2) 「特別研究」（12）は、研究能力やより高度な専門知識を身につけるために、指導教員による個別指導を受ける必修の科目区分とする。

教育の内容・方法

- ・ 授業は、講義、演習のいずれかにより、又はこれらの併用により行う。
- ・ 学生が主体的に学び、協働して課題解決に取り組むとともに、学習意欲・関心を高め、生涯にわたって学び続ける力を養うため、課題解決型学習（PBL）、グループワーク、プレゼンテーションなど、能動的学習（アクティブ・ラーニング）の手法を授業形態に応じて効果的に取り入れる。
- ・ 予習・復習等、授業時間外の学修について、シラバスへの内容記載や授業での喚起等により、適切な学修時間の確保を促す。

学修成果の評価

- ・ 授業科目の成績評価は、試験、受講態度、並びにレポートや課題、ディスカッション、プレゼ

ンテーションへの取組状況や成果等によって厳格に判定する。成績が一定の水準に達したと認められた場合に、所定の単位を認定する。

- ・ 修了するためには、所定の科目を含めた12単位以上の修得、必要な研究指導を受けた上で、学位請求論文等の提出を必要とする。
- ・ 学生に授業評価アンケート等を実施し、個別科目での学生の理解度や授業・教員への要望、及び学修達成状況などを把握し、その結果を授業や教育課程の改善に役立てる。

社会システム研究科 地域社会システム専攻 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

社会システム研究科地域社会システム専攻は、次のような人を求めます。

求める学生像

- さらに高度な専門性を持つ研究者を目指す人
- 地域研究・地域政策研究のプロフェッショナルとなることを目指す公務員、公的及び民間研究機関等の職員、企業関係者、NGO・NPO職員等の社会人
- より高度な専門知識の習得を目指す教員、マスコミや報道及び広告業などジャーナリズム分野の関係者等の社会人
- 東アジア及びその周辺諸国の発展へ寄与することや、母国の大学・高校教員として活躍することを目指す留学生

求める能力

【知識・技能】

- ・ 地域社会研究、思想文化研究、東アジア社会圏研究についての修士課程レベルの専門的知識・技能を有している。
- ・ 日本語・英語に基づいたコミュニケーション能力、資料分析に必要な語学力・分析力などの技能を身につけている。

【思考力・判断力・表現力等の能力】

- ・ 地域社会、思想文化、東アジア社会圏の分野における様々な問題の本質を見抜く思考力・判断力を有している。
- ・ 研究活動を通じて得られた成果を、論文・学会などで適切に発表する表現力を身につけている。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

- ・ 研究者としての自律的な主体性を持って自らの研究に取り組むことができる。
- ・ 地域社会や学会の多様な人々と協働して問題の解決に取り組む素養を持っている。